

科目名	企画制作Ⅲ		担当講師	種田俊二	
講師実務経験	元放送局勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	ビジュアルクリエイト		授業形態 講義
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	番組の企画・構成の立て方、台本作りを学び、撮影・編集実習と連動することで、番組制作の方法を実践的に修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月8日	作品① 企画案・構成表等作成 → 後日撮影実習予定(作品①)			
2	5月15日	作品① プレビュー・編集構成表作成 → 後日編集実習予定(作品①)			
3	5月22日	作品② 企画案・構成表等作成 → 後日撮影実習予定(作品①続き)			
4	5月29日	作品① 追加撮影分プレビュー・編集構成表作成 → 後日編集実習予定(作品①完成)			
5	6月5日	作品① 試写 作品② 企画案・構成表等作成 → 後日撮影実習予定(作品②)			
6	6月12日	作品② プレビュー・編集構成表作成 → 後日編集実習予定(作品②)			
7	6月19日	作品② 構成表等作成 → 後日撮影実習予定(作品②続き)			
8	7月3日	作品② 追加撮影分プレビュー・編集構成表作成 → 後日編集実習予定(作品②完成)			
9	7月10日	作品② 試写 総復習・試験対策			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	無人航空機概論		担当講師	成田・松永	
講師実務経験	ドローンスクール講師				
対象学年	2 学年	対象コース	ビジュアルクリエイト		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	45 分
修 得 目 標	ドローンの操縦に必要な知識(歴史、法律やルール、各種申請方法)や基礎技術(機構や基本操作)を習得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月8日	授業ガイダンス(座学)			
2	5月15日	法律・ルール、安全運航管理(座学)			
3	5月22日	機体、送信機の操作・機能、バッテリーの運用等			
4	5月29日	ドローンの操作技術を学ぶ① ホバリング、移動			
5	6月5日	ドローンの操作技術を学ぶ② ホバリング、移動			
6	6月12日	ドローンの操作技術を学ぶ③ 目視外			
7	6月19日	ドローンの操作技術を学ぶ④ 応用実技			
8	7月3日	ドローンの操作技術を学ぶ⑤ 応用実技			
9	7月10日	試験対策(座学)			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	なし				
注意事項	9時間中 4時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ストリーミング		担当講師	岡 宏樹	
講師実務経験	映像制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	ビジュアルクリエイト専攻		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	ライブ配信を行うための基礎知識、機材の取り扱い方法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	05月09日	授業ガイダンス ストリーミング、ライブ配信について			
2	05月16日	配信機材(カメラ、ビデオミキサー、ビデオキャプチャー、コンバーター、映像ケーブル)について			
3	05月23日	配信機材(マイク、オーディオミキサー、音声ケーブル)について			
4	05月30日	配信ソフトウェアについて			
5	06月06日	配信企画に沿った機材の選定と仕込み図について①			
6	06月13日	配信企画に沿った機材の選定と仕込み図について②			
7	06月20日	配信機材のセッティング①			
8	07月04日	配信機材のセッティング②			
9	07月11日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	MA実習Ⅱ		担当講師	田莉子和之	
講師実務経験	音楽・番組制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	ビジュアルクリエイイト専攻		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	MA作業の理解と、付随する特殊用語の習熟、及び、音声・映像に関する知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月9日	授業ガイダンス／MAの概要・知識について			
2	5月16日	MA作業準備 / 整音について(1)			
3	5月23日	MA作業準備 / 整音について(2)			
4	5月30日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(1)			
5	6月6日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(2)			
6	6月13日	整音 / ミックス について(1)			
7	6月20日	整音 / ミックス について(2)			
8	7月4日	実技習得度判定試験			
9	7月11日	定期試験対策 / まとめ			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	モーショングラフィックⅡ		担当講師	水上志乃	
講師実務経験	経専学園を卒業した後、映像制作会社にてイベント系の撮影と編集業務に携わる。後、フリーランスとして活動中。				
対象学年	2 学年	対象コース	ビジュアルクリエイト		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	より高度なAfterEffectsの技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月10日	前期の振り返り 作品レビュー 作品研究			
2	5月17日	フォトショップとの連携 アニメーションを作る			
3	5月24日	イラストレーターとの連携 アニメーションを作る			
4	5月31日	テキストアニメーションについて			
5	6月7日	ヌル、親子レイヤー、エクスプレッションについて			
6	6月14日	カメラの操作について			
7	6月21日	これまでの総復習			
8	7月5日	作品制作			
9	7月12日	作品制作 提出			
評価方法	作品提出評価(100%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	作品制作		担当講師	高橋 学	
講師実務経験	映画制作会社取締役				
対象学年	2 学年	対象コース	ビジュアルルクレイト		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	ショートムービーを通して、映画を中心とした映像の制作、知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月10日	授業ガイダンス。映像の知識①。			
2	5月17日	企画、プロットの作成①。映像の知識②。			
3	5月24日	企画、プロットの作成②。映像の知識③。			
4	5月31日	映像の知識④。シナハン。			
5	6月7日	テスト撮影。撮影実習。			
6	6月14日	シナリオの作成。			
7	6月21日	画コンテの作成。			
8	7月5日	ロケハン。カメラテスト。			
9	7月12日	まとめ。ブレインストーミング。			
評価方法	作品提出評価(100%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	なし				
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	編集実習Ⅲ		担当講師	岡 宏樹	
講師実務経験	映像制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	ビジュアルクリエイト専攻	授業形態	実習
期 間	前期	総授業回数	4 回	1回あたりの授業時間	270 分
修 得 目 標	映像表現の実践的なテクニックを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	05月18日	授業ガイダンス 作品制作 I 編集①(素材の取り込み、編集、カラーコレクション)			
2	06月01日	作品制作 I 編集②(テロップ、MA、エンコード)			
3	06月15日	作品制作 II 編集①(素材の取り込み、編集、カラーコレクション)			
4	07月06日	作品制作 II 編集②(テロップ、MA、エンコード)			
5					
6					
7					
8					
9					
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中 9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	スチール実習Ⅱ		担当講師	高橋 吉之	
講師実務経験	カメラ修理会社、写真撮影および編集会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	ビジュアルクリエイト専攻	授業形態	実習
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	マニュアル露出の習熟、他者からの依頼、要求を表現する方法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月12日	授業ガイダンス、昨年の振り返りおよびカメラ操作方法の復習			
2	5月19日	露出のマニュアル操作習得、露出決定の方法			
3	5月26日	撮影実習、マニュアル露出の操作習熟、露出と表現との関係			
4	6月2日	光源、光線の種類と見つけ方生かし方、天候や場所、時刻による光の違い			
5	6月9日	撮影実習、屋外撮影			
6	6月16日	光源の種類とホワイトバランス、明るさやホワイトバランスの意識的なコントロールと効果			
7	6月23日	模擬受発注による作品制作①制作計画立案			
8	7月7日	模擬受発注による作品制作②撮影実践			
9	7月14日	作品講評および復習、試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	プリント都度配布				
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	時事研究		担当講師	山田 佳晴	
講師実務経験	テレビ・放送関連会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	スタッフ関連科目受講者	授業形態	講義
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	45 分
修 得 目 標	ニュース・時事問題を読み解き、日常生活の思考・行動に活用する力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月12日	授業ガイダンス、時事研究について			
2	5月19日	直近のニュースについて①			
3	5月26日	直近のニュースについて②			
4	6月2日	直近のニュースについて③			
5	6月9日	直近のニュースについて④			
6	6月16日	直近のニュースについて⑤			
7	6月23日	直近のニュースについて⑥			
8	7月7日	直近のニュースについて⑦			
9	7月14日	講義振り返り、試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	無し				
注意事項	9時間中4時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	一岡 永	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	就職対象各専攻		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	主体性を持って就職活動を進める上で必要な知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月12日	授業ガイダンス 就職活動状況について			
2	5月19日	受験促進、労働条件について(賃金、時間)			
3	5月26日	面接対策			
4	6月2日	受験促進、企業情報の提供			
5	6月9日	就職実習制度(企業研究)について			
6	6月16日	受験促進、メールの送り方、オンライン面接について			
7	6月23日	企業講話			
8	7月7日	OB講話			
9	7月14日	受験促進、企業情報の提供			
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	無し				
注意事項	9時間中 4時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	イベント実践(新入生歓迎ライブ前)		担当講師	田端 優一・岡 宏樹・水上 志乃	
講師実務経験	映像技術関連業務				
対象学年	2 学年	対象コース	ビジュアルクリエイト専攻		授業形態
期 間	前期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間	270 分
修 得 目 標	イベント実施に向けて連続的にイベント準備を進める事で、より実践的に知識や技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	各ポジション決定/イベント実施までのスケジュール作成 / チーフ会議			
2	4月18日	オープニング、エンディング映像プラン			
3	4月19日	撮影技術確認/オープニング映像用素材撮影～取り込み			
4	4月20日	オープニング映像編集/エンディング映像用素材撮影～取り込み/各専攻スチール撮影			
5	4月21日	台本読み合わせ/オープニング映像プレビュー～ダメ出し、確認/エンディング映像編集/各専攻スチール撮影			
6	4月24日	オープニング映像確認/エンディング映像プレビュー～ダメ出し、編集/仕込み準備、打ち合わせ			
7	4月25日	出力映像確認～現場チェック/ホール仕込み、チェック			
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	42時間中 15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	イベント実践(定期公演前)		担当講師	田端 優一・岡 宏樹・水上 志乃・高橋 吉之	
講師実務経験	映像技術関連業務				
対象学年	2 学年	対象コース	ビジュアルクリエイト専攻		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	18 回	1回あたりの授業時間	270 分
修 得 目 標	各専攻間での連携、コミュニケーションを応用し、より実践的な技術、知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	8月21日	ZeppSapporo概要、セクション決定			
2	8月22日	ライブ撮影応用実習①			
3	8月23日	ライブ撮影応用実習②			
4	8月24日	モーショングラフィック活用実習			
5	8月25日	ライブ照明基礎、ライブスチール撮影実習@Kissホール			
6	8月28日	校内RH用、Zepp用仕込み図制作～確認			
7	8月29日	ライブコンテ制作/ライブ本番時挿入動画、演出用動画プランニング①/ライティング打ち合わせ			
8	8月30日	ライブコンテ制作/ライブ本番時挿入動画、演出用動画プランニング②/コンテ制作			
9	8月31日	ライブコンテ制作、カメラワーク確認/ライブ本番時挿入動画、演出用動画素材作成、撮影			
10	9月1日	VE実習/ライブ本番時挿入動画、演出用動画素材作成、撮影			
11	9月4日	ライブ本番時挿入動画、演出用動画編集/配信用進行表制作			
12	9月5日	ライブ本番時挿入動画、演出用動画編集/配信用テロップ、フタ面制作、挿入動画撮影			
13	9月6日	ライブ本番時挿入動画、演出用動画プレビュー～ダメ出し、編集/一眼エンドロール制作確認①			
14	9月7日	ライブ本番時挿入動画、演出用動画プレビュー～ダメ出し、編集/一眼エンドロール制作確認②			
15	9月8日	校内RH仕込み			
16	9月11日	技術確認、調整、動画関係出力チェック～修正/ライティング打ち合わせ/スチール撮影①			
17	9月12日	技術確認、調整、動画関係出力チェック～修正/ライティング打ち合わせ/スチール撮影②			
18	9月13日	校内RHテクニカルリハーサル/配信システム仕込み			
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	108時間中 37時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				